

ヤマセミの人工営巣地の設置

平成7年度より付替道路の建設に伴い施工する擁壁や橋台※にヤマセミの人工営巣地(人工の巣穴)を設置しています。人工営巣地では、ヤマセミの産卵や雛を育てるための営巣箇所として利用されていることを確認しています。

※橋台…人や車が通る橋本体を両端で支える土台

●ヤマセミとは・・・

谷川や湖の水辺に生息する鹿の子斑の模様と頭のぼさぼさとした冠羽が特徴的な鳥です。

川近くのシラスや粘土質の崖に1m以上もある横穴を掘って巣をつくります。



ヤマセミ



工事現場周辺で確認されたヤマセミの巣(自然営巣地)

●ヤマセミの人工営巣地の設置



道路擁壁の側面に設置したヤマセミの人工営巣地



ヤマセミ人工営巣地の利用



巢内(卵・雛)



●ヤマセミの人工営巣地の利用状況

